

AEFA フレンド会報

アジア教育友好協会 Asian Education and Friendship Association (AEFA)

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西2-14-49

電話 03(3333)0562 /FAX 03(3506)7301 Email: office@nippon-aeфа.org

<文化祭シーズン到来>各校の交流の発表が行われています

横浜雙葉高校 フリーマーケット開催 10月22日-23日

タイのソップワーク小学校支援のためにフリーマーケットを開催しました

ソップワーク小学校とフレンドシップ校の横浜雙葉高校は10月22日-23日の雙葉祭で、現地の学校を支援するためのフリーマーケットを開きました。

横浜雙葉高校は、5月にフレンドシップ協定を結び、交流をはじめています。会場となった教室では、これまで総合学習で勉強したNGOの活動を発表し、支援を呼びかけるため、生徒さんが家から持ってきた洋服、人形、小物や手作りのクッキーなどが並びました。フリーマーケットと合わせ、クイズコーナーを作ったり、手作りの募金活動を行っていました。

この売上げはソップワーク小学校の寮生の寝具に使われる予定です。

<生徒さんの感想>

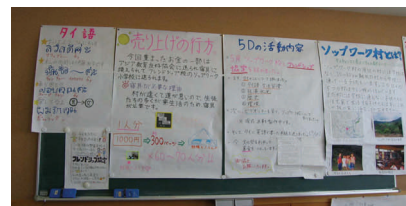
☆私たちはいかにモノにあふれた幸せな生活が

できているのかを実感しました。1人がほんの少し家にあるものを持ち寄るだけで、たくさんの人の助けとなる物資やお金にすることができるといことは、すごいことだと思います。

☆展示物やクイズを通して、困っている人々に目をむけて頂くことができました。私達自身も文化祭での活動を通して改めて助け合うことの大切さを学ぶことができました。

☆ただ商品がならぶフリーマーケットになるのではなく、調べた資料の展示や、タイの民芸品などを見ていただける意味のあるものにできました。

☆工夫を重ね、売れ行きを伸ばすことができたと思います。中にはお釣りをそのまま募金して下さる方や、千円札をそのまま募金箱に入れて下さる方もいらっしゃいました。



小田原市立城北中学校 総合学習の発表会 10月18日

ベトナムのパカン小学校との交流の様子を紙芝居、ビデオで発表しました

10月18日小田原市立城北中学校では、文化活動発表会で、3年生代表発表の1つとして『学校に行けない子どもたち』の発表が行われました。

これまで、AEFAから届いたビデオ、写真、子どもたちの作品をもとに、ベトナムのパカン小学校と城北中学校の交流を紹介するとともに、学校に行けない子どもたちの現状を説明しました。

オリジナルの紙芝居では架空の少年リク君を主人公に、どうして学校に行けないのか、経済的な理由、子どものおかれている環境を説明し、世界に支援を必要としている学校の現状を紹介しました。ビデオも生徒さん自身で編集し直し、自分たちの言葉でまとめ、内容を吟味したわかりやすい発表になっていました。

<生徒さんの感想>

☆パカン小学校との交流はとても貴重なものでした。私たちが作ったものが、ベトナムの子どもたちに紹介されているDVDを見たときは嬉しい反面、信じられませんでした。このような機会をもとにこれからも世界の子どもたちに目をむけていきたいです。

☆ベトナムの子どもたちのことを知ることができ、総合学習の発表会を成功させることができました。ベトナムのコーヒーを飲ませてもらったり、服(アオザイ)を見せてもらったりなど、体験できてよかったです。

☆世界に目を向けることができ、素晴らしい体験ができてよかったです。

☆フレンドシップ校という普段体験できないようなこともできて良かったと思います。



磐田市立豊田中学校 生徒会での募金活動 NOIコンサート 11月2日



学校支援を積極的に行う生徒会のメンバー

磐田市立豊田中学校の生徒会では、昨年の公約の一つに「海外の学校建設の援助」をかかげ、AEFAに支援の協力の依頼がありました。7月にラオスのパチュドン小学校とフレンドシップ協定が締結し、交流が始まっています。

10月13日から生徒会で募金活動が始まりました。ラオスのパチュドン小学校は寮を含めた学校建設が進んでいますが、寮の寝具が十分に揃っていないので、それにむけての募金を募っています。

11月2日は文化発表会があり、日ごろの活動を発表する場で、生徒会のラオスの支援をPTAにも呼びかけることになっていました。偶然、AEFAの親善大使、ラオスの歌姫NOIさんの日



AEFA親善大使 ラオスのNOIさん

程調整がつき、NOIさんのコンサートが開催されることになりました。このコンサートを機にラオスを身近に感じ、フレンドシップ交流が深まることを期待しています。

<NOI>のプロフィール

Miss Sengsourigna Phonekaseumsouk

現在、ラオス国立テレビのアナウンサー、歌手、作詞作曲家として活躍

1977年ラオス首都ビエンチャン生まれ。小さい頃から、伝統音楽から現代音楽まで幅広い音楽を勉強する。23歳で奨学金を受けオーストラリアのメルボルンの大学で建築を専攻。若者のための音楽活動、エイズ、ドラッグ撲滅チャリティーコンサート、環境保護のチャリティーコンサートなど社会的意義のあるコンサートを数多く開催している。2002年にはMissラオスにも選ばれる。

丸岡町平章小学校 絵手紙での交流 9月12日



福井県丸岡町平章小学校では、ベトナムのタンタイン小学校と5月からフレンドシップ交流を行っています。

平章小学校は絵手紙の活動も盛んな学校で、9月にタンタイン小学校に平章小学校の生徒さんの描いた絵手紙と作品が届けられました。絵手紙を通じベトナムの子どもたちは日本の小学校の様子がよくわかったようです。またその絵手紙の返事をタンタイン小学校の子どもたちがそれぞれ描き、その様子はビデオで撮影されました。平章小学校にその絵とビデオが届けられ、「顔の見える」交流が行われました。交流の詳しい様子は同校のホームページにも紹介されています。

<http://www.heisyou.ed.jp>



フレンドシップ校紹介

町田市立小山田小学校

小山田株式会社の設立



小山田小学校は、まわりの竹林から竹を切り、竹炭を作り、鶴見川の浄化作戦に挑戦している学校です。この環境活動を国際交流に発展させ、小山田株式会社を立ち上げることを企画しています。子どもたちが作った竹炭、竹酢液を製品にして多少の利益を上げ、そのお金を国際交流に使うというものです。

①労働の対価としての利益を得て、②その利益を社会に還元していくことをサムソップ小学校、ユニセフへ寄付することで学んでいきます。

紫波町立上平沢小学校

「木」と「大自然・環境」、「故郷」、そして「子ども」をテーマにした交流



上平沢小学校は、紫波町産材を使い、紫波町の木工さんによって建築された木造平屋の学び舎です。木の香りと温もりの中で子どもの命と心を育み、『郷土に誇りをもち、未来を見つめる感性』を育てています。国際交流でも、木、大自然、故郷をテーマに交流していきます。

アジアの学校2005年完成！

タイ・ソップワーク小学校 6月



2005年6月、タイのメーチェム郡のソップワーク小学校の寮の建設、校舎の改修工事が完了しました。ソップワーク小学校は80km離れた村からも生徒たちが来るため、120人収容の寮を作りました。各学年1クラスずつの教室を使えるように、壁、天井を貼るなどの改修工事が行われました。校長先生はまわりの村人に学校に来ることの大切さを伝え、一人でも多くの子どもたちが来れるよう一生懸命働きかけています。

タイ・サムソップ小学校 7月



新しく完成した寮

自然環境センター

2005年7月、タイのメーチェム郡のサムソップ小学校の寮と自然観察センター、中学校の校舎が完成しました。この寮の完成で、42人収容の寮ができ、新たに勉強できる子どもが20人増えました。サムソップ小学校は環境問題への取り組みが熱心な学校で、地域の人たちとカレン族に伝わる自然の知恵を学ぶ、自然観察センターも完成しました。

ベトナム・パカン小学校 9月



←新校舎 旧校舎↑

2005年9月、ベトナムのクエンナム省パカン小学校が完成しました。1-3年生の34人の小学生、20人の幼稚園生が通っています。教室2つと職員室、トイレができました。衛生状態も改善され、トイレが清潔になったことを先生たちはとても喜んでいました。写真右の掘っ立て小屋が明るい新校舎になりました。

ベトナム・ヴァンフォン小学校 9月



←新校舎 旧校舎↑

2005年9月、山を削る大掛りな工事が行われたベトナムのフートー省ヴァンフォン小学校が完成しました。3つの教室、職員室、トイレの新しい校舎ができました。1,2年生53人、幼稚園生61名が新しい校舎で勉強しています。先生方は開校式の前夜は嬉しくて眠れなかったそうです。

その他の学校の建設状況

●2005年10月、ベトナムのクエンビン省イエンホップ小学校は完成予定です。●2005年12月、ベトナムのランソン省タンタイン小学校は完成予定です。現在地ならしが終わっています。子供達は仮校舎で勉強しています●2006年3月ラオスのパチュドン小学校とアワイ小学校は完成予定です。雨季のため建設は遅れていますが、資材の調達など村人も積極的に協力しています。

久米島町立仲里小学校

ホテルをテーマにした交流



真っ白い砂浜、青い海に囲まれた沖縄県久米島には久米島ホテルが群生しています。フレンドシップ校の中国の藤誼小学校にもホテルがあるので、このホテルの輝きをフレンドシップ交流に反映していくことを楽しみにしています。

愛媛大学農学部附属農業高校

農業をテーマにした交流



愛媛大学農学部附属農業高校は、附属農業高校としては、日本唯一の学校です。校内にビニルハウスや畜舎があり、羊やニワトリがいたり、果樹園や畑、山での実習が行われています。ラオスのアワイ小学校も農業に取り組んでいるので、農業を通じての交流を行っていく予定です。



日本財団 助成事業

本事業は日本財団による助成金を受けて実施しています

<AEFAの学校建設のしくみ>

アジア教育友好協会は学校の建物を作るだけでなく、現地のニーズに合わせ、3つの基本要素をふまえた新しいコンセプトの学校の建設・運営を展開しています。

1 学校建設

村から学校建設の希望があがってくると現地パートナーNGOは、その村で**学校運営委員会**を設置します。村長・校長(又は担当教師)・保護者代表・村の青年代表・NGOスタッフが学校運営委員会の中心になり、計画を作り、建設中は村人の労働奉仕を管理し、建設後の学校運営に携わります。

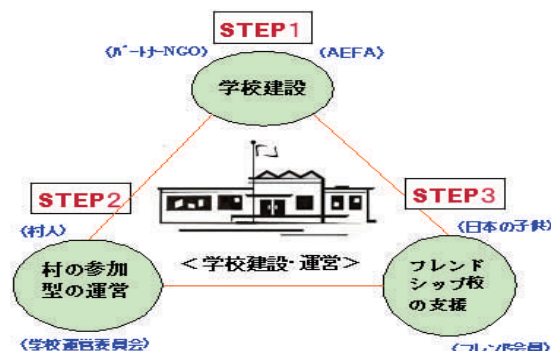
学校は3-5の教室・トイレ・教員室などが作られます。学校は村の中心になり、集会所を兼ねる場合もあります。必要に応じて幼稚園や、遠くから通う子供の寮を併設したり、井戸を掘ったり、その地域のニーズに合わせた学校を作ります。

2 住民参加型の学校運営

学校を運営していくためには、地域住民の理解、努力が不可欠です。学校を維持・運営していくために、学校の運営費を賄わなければなりません。豚の飼育、野菜ガーデン、伝統手芸品の販売などの地域住民自立の支援プロジェクトを立ち上げていきます。

3 フレンドシップ校の提携・支援

アジアの学校と日本の学校とがフレンドシップ校となり、生きた国際



交流をおこないます。

日本の学校は: この学校建設事業に最初の段階から関わることによって、現地の住民の生活や学校生活を知ることができます。ビデオや写真による日々の記録が、国際理解教育の実地教材となります。

また友達の学校を支援するという「顔の見えるボランティア活動」を学ぶ機会にもなります。

アジアの学校は: 「日本の友達」からの支援を受けて行う活動を通して、教育への意欲が増し、自分達の文化への誇りと自立への努力が促されます。



詳しくはHPをご覧ください
<http://www.nippon-aeffa.org>

2006年フレンドシップ校募集

アジア教育友好協会は、2006年度の学校建設校とフレンドシップ交流をする日本の学校を募集しています。

<交流内容>

ラオス、ベトナム、タイ、中国雲南省での建設校、またカンボジアの学校も含めフレンドシップ交流を希望する学校を計20校募集しています。

学校単位、クラス単位、総合的学習の時間、生徒会、クラブ単位とそれぞれ

れの学校にあった形態での交流方法を選べます。

現在の劣悪な教育環境を知ること、建設でどのように教育環境が良くなるか、一緒にアジアの子どもたちと分かち合うことから始まります。

是非、興味のある方は下記の連絡先までお気軽にお問い合わせください。(担当:佐藤)

新フレンド会員紹介

友の会に入会された皆さんです。ご入会ありがとうございます。(敬称略)

上西紀夫・上西玲子・長野愿・松村洋・草桶秀夫・志田由紀子・谷川裕・内田昭三・下井勝久・佐々木康夫・鈴木博康・榎彦左衛門・田中章雅・安田悠・藤田卓・川嶋寿彦・見田元・風間宏敏・渡辺ティ子・さいとうまほ・斎藤知子・佐藤駒恵

AEFAスタッフ紹介

<理事長>谷川 洋 (商社OB。貿易現場から経営・企画分野まで幅広い実務経験・海外経験を持つ。日本財団より依頼され、2004年6月にAEFA設立準備開始。海外NGOとの交渉、理念・活動内容の統一などを経て、2004年11月から本格活動開始、理事長に就任) <海外コーディネーター>中菌久美子 (ラックス・タイ財団のスタッフとしても活躍。環境、教育、保健衛生などの分野の専門家として、タイの現場で12年の活動実績を持つ) <海外コーディネーター>坪井未来子 (JICA 嘱託/ベトナム専門スタッフ、NHKのベトナム語講座テキストの執筆などベトナムの分野で幅広く活動中) <国内コーディネーター>佐藤佳子 (中小企業のオーナー経験、総務経理のベテラン) <国内コーディネーター>島田侑子 (デトロイト在住14年、日本人学校補習校、デトロイトの公立小学校で教師。USAにてKids Ambassador 財団を立ち上げ、日米の若者の交流支援に尽力)

アジア教育友好協会 Asian Education and Friendship Association (AEFA)

本 部: 〒168-0071 東京都杉並区高井戸西2-14-49 電話 03(3333)0562 /FAX 03(3506)7301

Email: office@nippon-aeffa.org URL: <http://www.nippon-aeffa.org>